

リーガル・スタディ

～これやったら 100 倍返しされてもしょうがないです～



あなたは絶望に足を踏み入れているかもしれない…。
突然の企画ですがタケルψの話をちょっと聞いて欲しい。

そんなつもりはなかったけど、知らなかったでは済まされない。
やっている人が意外と多い危険な手法がゴロゴロとこころがっています。
いまだ気がつかないまま、売れないどころかマイナス資産になる可能性があるとしたら…

正直、アフィリエイトが広めていたノウハウの一部で
わたしがとんでもない被害に合うとは思いませんでした。
今も普通にやっている人は…いる手法です。

とりあえず、このレポートは
企画に参加する、参加しないにかかわらず読んでください。
賢い人は、これを読むだけできっと理解してくれるはずなので…。

みんなやっていますよね？商品を紹介している時に「デメリット」書きますよね？

やり方間違えると、あなたを苦しめる絶望サイトになります。
脅しじゃなくて、ぜひ読むだけでも読んで欲しい…。いや、本当に…。

■配信している本人すら知らない絶望ノウハウ

いや、知らなかったんです。

それで済まないほど、それが当たり前と思っている

この情報の間をあなたは知っているだろうか？

ちなみに、「もういないとは思いますが」

月収 100 万円を仮に稼いだことがないのに

「月収 100 万円稼ぎました」といって、それを元に利益をあげようものなら

「詐欺」になりますよね？

詐欺罪は、10 年以下の懲役となるので気をつけてくださいね。

個人だからって許されませんよ^^

これは極端な例なので、上記のどうでもいいのですが

アフィリエイトでいうところの「広告主」に迷惑をかける行為は

ここまでいかなくても、倍返しの誘導を貰う可能性は高いです。

仮に自分自身だけの問題で済むのなら救いがありますが

倍返しされてもしょうがないノウハウを、情報配信して

結果として、あなたの情報を信じた人が絶望に見舞われたら

もっと心が痛みますよね？

それをお伝えしていく企画とってください。

ここから先は、私の絶望体験のお話に入ります。

■けっこうな人がやっている「ある複合キーワード」にて

アフィリエイトの特典がついてくるのはご存じですよね？

その中で、この複合キーワードは狙い目といって特典にしていたり

メルマガを読んでいたら

普通に「この組み合わせワード」で作ることもあと書いてありますし

アフィリエイトを3ヶ月もやっていたら

ぜったいに、一度は見ていたはずですよ。

しかも、このやり方は売れるというから

わたしも、試しにやっていました。

■結構な人がやっているワードは、使っていませんでしたが…

少し発想をズラしたワードを使いました。

それなりの根拠は必要だしなど、試しに1サイト作ったのです。

ちなみに、該当するサイトはヒゲ脱毛のサイトで

1ついい感じの切り口が思いついたので作成したのです。

実際にヒゲ脱毛をやったことがあるのと

元前職が、化粧品会社という美容に関連する知識を少しだけ

私は持っていたために、

けっこう論理的にデメリットを解説することができたサイトができたのです。

どちらかというとデメリットを大きく膨らまして

こういう生きた経験もあるから、こういうのとかいいかもしれないという

別商品の提案型をやりました。

そして、そのデメリットに関して少し説得力を持たせたかったので

YAHOO 知恵袋とか本音の声とかも引用しました。

よくアフィリエイトサイトは良い事しか書かないから嫌だよな

ネットブログやサイトは、いいことばかりしかないと言われています。

少なくとも私は、デメリットが結果として強くなりましたが
引用元のことや、自分の体験したことも踏まえて
正直な体験が内容も交えていい感じのサイトになったなと思ったのです。

まあ、ほかの商品とか提案して個人的に
いい感じかなというデキのサイトだったのです。
とはいっても、1カラムのペラページなのと
結果は想像と違ってあまりいい感じではなかったので放置します。

結論を言えば、私はこの手法は合わないのかへタッピだったのか
わかりませんが、売れることはなかったですが、
代わりに私を苦しめることになりました。

■私の元に届いた1通の恐怖の手紙

弁護士を経由した1通の手紙、「**権利侵害に関する訴え**」…。

え…え？
どのサイトが…？

「ヒゲ脱毛に関する、ある部分のデメリットを強めたサイトでした」
しかも、弁護士を経由してかなりヤバそうな雰囲気がプンプンします。
しかも「**事件**」という表題できました。

ちょっとどういう状況に置かれていたのか
説明させていただきますね。

■私が置かれた状況

ちょっと説明の過程で図式化します。

(業者)⇒(エクスサーバー)⇒(私)

業者が私のサイトを見つけて
「あなたの記述は権利の侵害だ！」と

お怒りを買ってしまいサイト管理者の私がわからず、
ドメイン情報から、エクスサーバーに設置されていると分かり

エクスサーバーに、わたしの個人情報を渡せ！
異議を申し立てると弁護士の照会書が来たというお話です。

事件名は「**ネット情報削除請求事件(準備中)**」。(準備中?)

プロバイダ法に基づき、エクスサーバーが
こういう訴えが来ているが、あなたの情報を訴えている
先方にお渡ししていいか、同意を求める経緯と弁護士を通した
文面の合計7枚が届きました。

ちなみに、その申し出を拒否することもできるということでした。

**ただ脳裏に不安がよぎったのは
弁護士を通した文面できているということです。**

弁護士代も高くないでしょう。
かなり怖くて、とりあえずその該当するサイトは
ドメインからすぐに消しました。別に消すには惜しくないサイトですし
リスクを考えたら当然ですからね。

とりあえず、私がとった行動は
「私も弁護士に相談する！」という判断です。

私はヤバイながらも行動だけは冷静だった気がします。
地元の弁護士に電話で事情を説明し
比較的話を、電話で真剣に聞いてくださった1つの弁護士事務所に行くことにしました。

ちょうど一区切りしたところに
ある方からのスカイプのコメントが入っていました。

■引き寄せの法則に助けられたタケルψ

ネットビジネス大百科の木坂氏
新世界アフィリエイトの新田氏のセミナーを受けたことがあれば

1度は聞いたことがあるであろう、引き寄せの法則。
こういう人とコネクションを取りたいなと思っていたら
それが無意識に、日頃のメールとか仕草で伝わるのか

ある程度の実力のある人であれば
そういうことがありえるという眉唾的なお話を聞いたことがあったのですが
その引き寄せの法則を実感することになったのです。

ちょうど事件が起きる1週間前だったかな・・・
たまたま、知人のアフィリエイトつながりで一度だけ
サイトアフィリエイトの玄人の T 氏(仮名)と話すことがあり

そのときに、質問を投げた時のお返事がスカイプのコメントに載っていました。

たった1度しか話したことがなかったのですが
タケルψの直感が、この T 氏に相談すべきだと頭が働いたのです。

「それならば、似たような経験はあるよ。」と。

大きく息を吐き、多分その日一番の安堵をした瞬間でしたね。

そのとき、彼がとった対策などを詳細に聞くことができました。

T氏「あーその手法ね。

運が悪かったというより、ある意味うまいつくりだったんだろうね。

説得力もあったんだろうし、そういうタイプでやって何も無い人は

それこそ、伝えるだけ伝えて実はやっていないか、

やっているのに平気な人は対して影響力がないから部外視されているんだろうね。」

私は思いました。

「この手法、普通にアフィリエイトで広めてるじゃん。

特典で普通に手法として配っている人いるじゃん。

ということは、この手法を裏に上位表示させる実力があつたり

けっこう説得力を持たせるスキルを持っている人がいたら

私のような被害は、裏で出ているんじゃないか!？」と。

実際に、相談した彼も一度経験があるということでした。

私は思います。

「おいおい、なんだこの手法・・・。

こんな危険と隣り合わせでいつ絶望する危険なサイトになるか

わからないノウハウをいまも平気でやっている人やばくない?」と。

この件を思い切って

わたしが特に最近お世話になっている

サイトアフィリエイト軍団のコミュニティでも思い切って打ち明けました。

そしてそのコミュニティの長の講師の考えを見て
さらに考え方を改めました。

それは、**デメリットやマイナス要因に関する書き方**です。

**ちなみに、私は真っ向から否定したり
ぶっ叩いたりしたわけではありません。**

冷静に考えてください。
真っ向否定して狂言じみた文章を書いたって
誰も信じないし、スルーしたりシカトするって思いませんか？

まあこれも、出るところに出れば訴えられるんでしょうけど。

そんなこんなで、
私は次の日、弁護士の事務所にいきました。
ただ、弁護士の人から懸念事項として次のようなことがあげられました。

■相談した弁護士の方から言われたこと

表題を見る限り、「ネット情報削除請求事件」と表題はなっているし消す対応をしたという、報告をすることで問題はないと思うとのことでしたが

「特定の部分のデメリットを強めたサイトの流れは私自身の利益行為になるようになっていた作りであったこと」

この部分を膨らませて訴える可能性もありえた。
こういう話を伺いました。

メリット情報、デメリット情報をすべての媒体の網羅は不可能だし結局のところ、私の場合はデメリット要素に関する部分を作為的に多くしてしまっていたことは、大きな問題だということでした。

まあこれが、アフィリエイトサイトがいい口コミばかりでデメリット情報も見えるようにしたら評価があがるんじゃないかな？という安易な気持ちは動機にありましたが、

特にアフィリエイトをやっている私たちは利益目的で「いい情報を作為的に書いたり、悪い情報を作為的に書いたり」することも少なからずあるでしょう。

特に、情報商材アフィリエイトだけをやっている人は私は危険性をこの時は感じました。
だって、**特典とかで手法として広めている人いるし。普通に。**

稼ぐ系情報商材アフィリエイトで広まっている手法でいう内容をストレートにはやっていません。

ストレートにやっていたらと思うとサイト削除要請じゃない別の怖い文面で、私の手元に来たんじゃないかと思えます

少しだけサイトのネタバレを書くと部分否定系でした。
その部分否定の部分が、先方にとっての「権利侵害」だったのです。

もしね、私が今回、危険視した手法を
「大丈夫だし、何年もやっているけど平気だし」みたいに
言う人が仮にいたら、

「**実力のない人という裏付け**」が取れるなという結論にも至りました。

- ・キーワードの選定スキル
- ・サイト文章の説得力のある文章

ちなみに、稼ぐ系情報商材アフィリエイトで一部の人だと思いますが
私もやってしまった手法は、最近お世話になっている
サイトアフィリエイトのコミュニティの講師陣は、

【**やったことないし絶対にしない**】

というか、私も絶対にするの辞めとこうという恐怖体験から
生まれたリスク対策モノの企画ですね。

■体験話が長くなりましたが

結論を言えば、私は今回、私が絶望的な怖さを体験した
ノウハウに対して、メスを入れて論破していき
リスクない、収益を生むサイト作成というのをテーマにした
企画を立ち上げさせていただきました。

私は、「サイト削除請求事件」ということで弁護士を解した通知が来たのですが、

知人のサイトアフィリエイトやお世話になっている方に
話を伺ってみると、今回の私が体験したことに限らず
場合によっては、私の体験したことよりも、
やったら超ヤバイ事例というのが、そこそこあることがわかりました。
議題をあげていきますと・・・

・不正競争系の法律に引っかかる記述

例えば商品を比較している人いますよね？

これって場合によっては、不正競争に關与する法に引っかかります。

だって、何かを作為的に売るように仕向けるってことですよね？

やり方を間違うと、個人でやっているからでは済まされなくなります。

それに関する事例を伝えて

参加者の人には、こういうサイトを間違っって作らないように

解説していく予定です。

・デメリットの書き方の問題

私のデメリットの書き方は、実を言うと問題がありました。

たぶん、考えなしにアフィリエイトは高確率でやります。

だって、そういうノウハウも見てきましたから。

メルマガとかでも普通に言っている人いますしね。

それをデメリット系にも応用してやっちゃうとマズイです。

危険なデメリットの事例と、デメリットを書くにしても

こういう書き方であるべきという内容を企画内では解説していきます。

・危険なキーワード選定

やったらダメな複合キーワードの考え方を

解説していきます。これってアフィリエイト中には

「稼げるからやりなよ！」って言っている人が普通にいますが

もし私の企画に参加して、こういうことを言っている人がいたら

やったらダメだよとロコミでもなんでもいいからいい方向に伝わって欲しいと思っています。

とくに・・・日本語ドメインでこれやっていたら

超やばいことになります。正直言ってもしやっていたら

今すぐに、ドメイン情報から削除した方がいいレベルです。

・賢い人がやっているサイトアフィリエイトのワンセンテンス

実はですね。弁護士さんと相談したときに

「サイトに〇〇してなかったんですか？」

もしやっていたら、こういう怖い思いをしなくて済んだかもしれませんよ？」

とアドバイスをもらいました。人間ですから、過ちを誰しも必ずします。

何かを侵害するつもりは、なくても相手の受け取り方次第では

読んだ人が、そういう気持ちを芽生えてしまうことはあるかもしれません。

八方美人にはなれないし、悪いところは悪いというケースも

絶対に出ます。そういうとき、あることをやっていたら

大惨事にならなくて済むかもしれません。

これは逆に、サイトアフィリエイターはあまりやっていないのですが

やっておくことをおすすめするワンポイントアドバイスですね。

・著作権に関する恐ろしきケース

これは、あえて言う必要はないかもしれませんが

知らなかったじゃ済まされない、アフィリエイターがたまにやっちゃっている危険性ある事例を紹介します。

肖像権問題、コピー e.t.c

敢えて言う必要はないかもしれませんが

やったらダメだよということで解説していきますね。

・リライト+α問題

実際にあった事例があるということで、話を伺う機会がありました。

私が上げる事例は、「リライト」と「もう一つ」が組み合わさってしまった場合の話です。

リライトをやったらダメ、リライトは悪ということを言いたいわけではないので

その点を誤解しないようよろしくお願いします。

・私がやっていた事例

もしかしたら、これでダメだったの？と

びっくりする人もいるかもしれません。全部の文章は流石に出せませんが、
こういう流れで書いていたという、ちょっと専門チックなことを書いていたという
話を交えて解説したいなと思っています。

・情報配信をする上で企画を作る際の重要なポイント

例えばですけど、某アニメ・ドラマ・映画のタイトルとかを
少し煽って企画名に載せたとします。

実際に私もこの企画を作るときに、旬な単語を少しチョイスしましたが
「単語レベルまでです」

冷静に考えてください。

例えば、何かのキャラを使いたかったら企業であれば
版権的なところの許可を得て高いお金を払っているのです。

別にあなたの利益につなげるんじゃないのであれば
構わないのかもしれませんが、

あなたの利益目的に、100人中100人が
誰がどう見ても「あの作品」を利用して自分の収益に還元していると
わかる作りだったらご愁傷様というわけです。

ちなみにA商品売るためにA商品の名前を入れて
A商品をオファーするのは、何の問題もないです。
別の何かの利益につなげることが問題なので。

ただ…公式っぽい感じでやっちゃうとアウトになる企業は
多くなりつつありますね。

■ 以上のようなことを解説する企画ですが・・・

私の恐怖体験から生まれたことなので、結果として全体の流れが恐怖心を煽って、こんなことしているとか気に食わないと思う人もいるかもしれません。

とりあえず、知って欲しかったのです。

インフォ業界隈で一部の人が広めている手法に対しての危険性を。

もしかしたら、この企画はそれこそ、

私が語るノウハウを広めている人を敵に回す行為かもしれません。

でも、私は思います。

この危険性がわかっていたら、このノウハウはやってはダメと理解してくれる側に回ってくれる方が多いではないかと思ったのです。

結果として私にとっては、危険な体験をしたノウハウを論破してメスをいれるというものになりますが、事実として知ってほしいのです。

**私のように、サイト削除だけで済むなら良いかもしれませんが
サイト削除だけでは済まないケースもあります。**

少なくとも、私が気づいた手法は健全ではないと思っています。

私一人が呼びかけたところで、大した影響はないと思いますが理解者が一人でも増えたらというのが正直な気持ちです。

もし興味がある人がいましたら

参加資格の法をご確認ください。

■参加資格について

以下の私が紹介しているアフィリエイト商品のうち、9月20日以降に
どれか1つを買われた方に、私の企画にご招待したいと思います。

・LUREA

<http://xn--lurea--1p2jl49s.com/>

・新世界アフィリエイト

<http://xn---eeudet7q9c3h710yxchq41dpc6akxh.com/>

・新世界ミリオネアセミナー

<http://xn---eeuxa3evdp8je8g0ip562ahrigi0esowbt3i.com/>

・フォローマティック

<http://xn---geuraz3hqa7h5c0g9fs529a102d.com/>

・ネットビジネス大百科

<http://xn--yckc2auxd4b0552c1po9w3dnij14j.com/>

・SIRIUS

<http://xn--sirius--bn9k266v.com/>

私のレビューサイトに、この企画の文言は書いていませんが
ゲリラ企画と思ってください。

9月20日以前に、買われた方は今回対象外とさせていただきます。
ただ、9月20日以降に、この該当商品を買っているので参加したいという人は
個別にタケルψ宛までメッセージをもらえると幸いです。